



筑波大学附属大塚特別支援学校 校長 川間 健之介

2024年度 学校評価アンケートの集計結果について

本年 2 月 3 日～19 日に実施をしました、2024 年度「学校評価アンケート」の集計結果につきまして、ご報告いたします。保護者の皆様からいただいた貴重なご意見を、次年度の学校運営・教育活動にいかしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

1. 概要: アンケートの回答数: 56 件 (回答率 84.8%) 23 年度 86.7%、22 年度 95.8%、21 年度 87.5%、20 年度 91.9%

内訳 (幼稚園 4/5、小学部 20/24、中学部 13/16、高等部 19/21)

今回で3年目のアンケート項目を用いて質問しております。質問10は感染症対策の内容のため、現在は項目に入れておりません。回答方法は web フォームとさせていただきます。また、皆様にご記名のお願いもしております。項目は設問1と2が基本情報、3～15が記号による回答、16と17が記述による回答となっております。

2. アンケートの質問項目

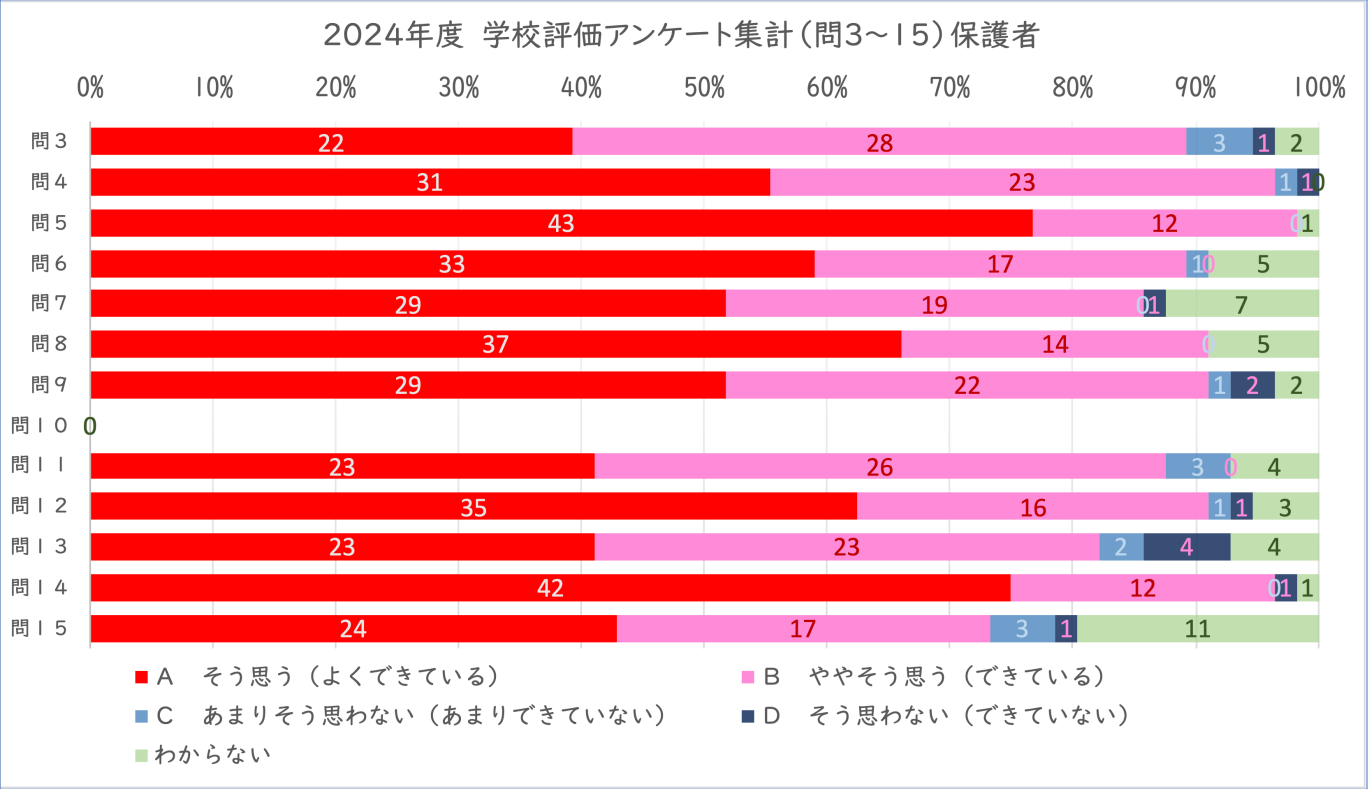
2024年度「筑波大学附属大塚特別支援学校・学校評価アンケート」

【記号回答の評価の尺度】

A	B	C	D	※
そう思う (よくできている)	ややそう思う (できている)	あまりそう思わない (あまりできていない)	そう思わない (できていない)	わからない

- お子さんの所属学部 幼稚園 ・ 小学部 ・ 中学部 ・ 高等部 (お子さんの所属学部にチェック)
- 回答された方の氏名 (任意)
(3～15は記号でお答えください。)
- 保護者(私)は、学校教育方針・目標、学校運営方針を理解している。
https://www.otsuka-s.tsukuba.ac.jp/page1_12.html
- 学校の様子は、連絡帳、学級だより、学校からのお便り、メール、ホームページなどからの情報でよく分かる。
- 学校へ電話をかけたときや学校訪問した際の、教職員の対応が丁寧である。
- 学級や学部の授業は工夫が見られ、達成すべき目標が分かりやすく設定されている。
- 学級や学部のきまりが守られており(守ろうという促しがあり)、規律が整っている(規律を整えようとしている)。
- 本校の幼児児童生徒は、表情が明るく生き生きと学校生活を送っている。
- 学校行事は、社会情勢を踏まえつつ、学校生活や学習活動の成果を発揮できるよう設定されている。
- 昨年度は感染症対策について質問しました。年度比較のためこちらは欠番とします。無回答のまま11にお進みください。
- 学校は施設設備の安全管理や美化清掃を適切に行っている。
- 保護者面談では、個別の教育支援計画や、個別の指導計画の丁寧な説明がなされており、家庭と十分に共通理解が図れている。
- 学校は、進路指導や将来を見据えた指導を計画的に行っている。
- 学校と教職員は幼児児童生徒の人権を尊重し、適切に接している。
- 本校の教育活動や発信する情報は社会に貢献している。
(16、17は記述回答となります。)
- 本校の教育活動の中で、特に評価できる点についてお書きください。(記述)
- 本校の教育活動の中で、改善して欲しい点などありましたらお書きください。(記述)

3. アンケート集計 (問3～15)



4. 記号回答に関して

数値評価についてご報告いたします。今年度の回答率は 84.8% (前年より 1.9%減少)となりました。全校の母数が 66 と少ないため、アンケートの実施にあたっては、適切な期間の設定やリマインドの通知について見直しを図ってまいります。設問 3～15 は選択肢で回答する形式となっており、数年継続することで同様の傾向が見られることが分かってきました。3～14 の回答において、「A(そう思う)」および「B(ややそう思う)」の肯定的な評価が 80%以上となりました。一方で、尺度の C(あまりそう思わない)・D(そう思わない)・「わからない」を合わせた割合が 15%を超えた項目は、質問 13(進路や将来を見据えた指導)、質問 15(学校の取り組みの社会貢献)の 2 点でした。また、昨年 15%を超えていた質問 7(学校としての規律)についても 14.3%と、引き続き高めの数値となっています。

これらの項目については、今年度の学校の取り組みにおいて、努力の如何にかかわらず成果が十分に得られていない、もしくは分かりにくい点があると考えられます。今後、改善に向けた方法を検討してまいります。

○質問15: 本校の教育活動や発信する情報は社会に貢献している。

56 件の回答のうち 10 件が「わからない」を選択しており、昨年と同様に顕著な傾向が見られました。回答時の判断材料として、質問文の後に具体的な事例を括弧書きで示すなどの工夫が必要かと思われます。また、評価のための情報提供についても、さらに改善を図る必要があります。今年度は、念願のカフェ型教育施設「えがおカフェ」が設置され、学校の取り組みの幅が大きく広がりました。カフェの一般向けオープンをはじめ、地域の老人ホームへのお菓子の提供や交流など、地域社会への貢献活動が行われました。また、国内外からの問い合わせや見学依頼、情報提供依頼、講師派遣依頼、執筆依頼が多く寄せられています。昨年度のアンケート結果を受け、広報の方針について改善を検討した項目でしたが、十分に達成できておりません。次年度の重点項目として、情報の整理・発信に努めてまいりたいと存じます。

○質問13: 学校は、進路指導や将来を見据えた指導を計画的に行っている。

本質問は、範囲が広く、多様な捉え方が可能であると認識しております。また、記述回答にも関連するご意見やご要望が寄せられました。例えば、「さまざまな技能や態度を身につける機会を増やしてほしい」、「中学生・高校生らしい日常を送れる環境を整えてほしい」といったご意見をいただいております。今後も、学校の教育活動を充実させるとともに、その内容についても検討を進めてまいります。

5. 記述回答に関して

記述回答の項目は 2 点です。質問 16・17 について、今年も多くのご意見を頂戴いたしました。本校の教育活動への共感やご賛同、励まし、感謝の言葉に加え、疑問点や改善を求めるご意見も多数寄せられました。これらの貴重なご意見を、次年度の教育活動に反映させてまいります。記述の項目は2点です。

6. まとめ

2 月末の学校評議員会にて、本アンケートの数値をご覧いただき、回答結果についてのご指導をいただきました。また、学校生活を送る当事者である幼児児童生徒へのアンケート実施についても助言を受け、今後の実施に向けて検討を進めることとしました。今年度の学校評価の総括は、次年度の学校運営説明会(4 月 11 日)にてご説明させていただく予定です。ぜひ、ご参加くださいますようお願いいたします。

本年度の学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。